

生きることと信仰

—内村鑑三の信仰実践から—

野中寛治（倫理研究所研究員）

はじめに

人が生きる上で信仰はどのような意味を持つのか、信仰は人の生きる根拠となり得るのか、人の生きることと信仰とはどのような関係があるのか。本稿では、人が生きることと信仰の問題について考えていきたい。

信仰は自由であり、信仰の動機、意味、意義等も人それぞれである。そこで本稿では、生きることと信仰とを一般的に論じるのではなく、信仰の生涯を貫いた内村鑑三を取り上げ、内村がどのような信仰者であり、どのような信仰を実践したかを見ていくことにしたい。